



年末年始の救急事故を無くそう!! 窒息事故やヒートショックを防ごう!!

年末年始にかけて、餅やかまぼこなどを喉に詰まらせ、救急車を要請する窒息事故が多くなります。特に、**高齢者**の割合が多く、注意が必要です。



窒息を防ぐポイント

- 餅や食材は、小さく切って食べやすい大きさにしましょう。
- 急いで飲み込まず、ゆっくりかんで食べましょう。
- 乳幼児や高齢者と一緒に食事をする際は、適時食事の様子を見るなど注意を払いましょう。

大切な人や家族の命を守るために「普通救命講習」を受講しましょう！

寒い時季に暖房の効いた部屋から、廊下やトイレ、浴室などに行くと、急な寒さで体がゾクゾクすることがあります。急激な温度変化がもたらす体への影響を、**ヒートショック**といいます。脳卒中や心筋梗塞などを引き起こす恐れがあります。

ヒートショックを防ぐポイント

- 脱衣所やトイレを暖める！**
入浴前に温かいシャワーで浴室を暖めたり、暖房器具を活用したりしましょう。
- 食事や飲酒の直後の入浴は控える！**
食後や飲酒後は、血圧が下がりやすくなるため、直後の入浴は控えましょう。
- 1人での入浴は控える！**
可能であれば、1人での入浴は控えましょう。



体験して、学んで、ゲット!

災害から身を守るために、災害についての知識や行動力を身に付けるよう、体験型「防災研修センター」で防災について学びませんか？

*参加無料

- 地震体験：過去に発生した地震の揺れ
- 暴風雨体験：台風や豪雨
- 初期消火体験：消火器の取扱方法、消火方法
- 煙体験：火災のときの避難体験
- クイズ式119番通報体験：いざというときの通報体験



5つ全てを体験された小学生以下のみんなは、消防消しゴムをゲットできるガチャガチャができるよ!

来年の**出初式**は平成31年**1月12日(土)**開催です



新年恒例の薩摩川内市消防出初式！はしご乗りの演技や迫力満点の一斉放水など見どころもたくさんあります。ぜひ観覧ください。

時：平成31年1月12日(土)
所：川内川左岸河川敷

甕島地域：平成31年1月6日(日)
上甕グラウンド・下甕長浜緑地公園
*天候などの都合により中止になる場合があります。了承ください。

【問合せ先】=警防課消防団係 ☎(22)0125



灯油 灯油やガソリンは「危険物」です の取り扱いに注意しましょう!

【編集】=薩摩川内市消防局予防課 <http://www.satsumasendai-fd.jp/> 薩摩川内市消防局 検索

冬場になると、石油ストーブの燃料として使用される灯油を取り扱う機会が多くなってきます。灯油は、液温が40度を超えると、引火する危険がガソリンとほとんど同じになるため、間違った取り扱いをすると、火災を発生させる危険性が高くなり、命までも脅かすことになります。灯油の取り扱いに対する注意点や、保管方法を知り、安全安心で快適な生活を過ごしましょう。

注意点

- 1 **火気には近づけない**
引火を防ぐため、灯油用ポリエチレン缶を火気から十分離してください。
- 2 **注油のときは必ず火を消す**
気化した蒸気が火気に触れると、火災を発生させる原因となります。
- 3 **ガソリンの誤注油を防ぐ**
誤ってガソリンを注油すると、火災に至る危険が極めて高くなります。
- 4 **注油後は、燃料キャップ(ふた)をしっかり閉める**
燃料キャップがしっかり閉まっていなかったため、火災に至った事例があります。



保管方法

灯油は、古くなると熱や光により酸化し、機器などにおいて不完全燃焼や配管の詰まりを引き起こす原因にもなります。春先に使い残し、次の冬に使用することがないよう、シーズン中に使い切りましょう。

- 1 **直射日光を避ける**
紫外線の影響を受ける状態での保管は、劣化の進行が早くなります。
 - 2 **灯油用ポリエチレン缶は密栓して保管する**
左右の栓がしっかり閉まっていることを確認してください。
- *灯油用ポリエチレン缶にガソリンは絶対に入れないこと(容器が変形し、ガソリンが漏れる恐れがあります。)

ラベルの付いた容器を使いましょう。

事故を防止するため、容器は消防法の試験基準に適合した容器を使用してください。試験基準に適合した容器には、危険物保安技術協会の性能試験に適合したラベルが表示されます。また、「un」と表示が付された運搬容器も、消防法令において定められた試験と同等の試験に適合したものとされています。

自主的に性能試験を行い、通常試験性能をクリアした運搬容器には、「型式試験確認済証」「認定」「推奨」などの表示が付されているものもあります。



灯油用ポリエチレン缶の例